

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 農業技術センター 横浜川崎地区事務所
要望問題名 低温時のニチニチソウの葉の黄化の原因の解明と対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市内では春～初夏の花だん苗物として、ニチニチソウが多く作られているが、5月～6月に出荷するもので下葉が黄色くなる現象が見られる。低温が一番の原因であると思われるが、症状からマグネシウム欠乏も疑われる。燃油高騰のため、気温を上げるのも限界があるため、原因の解明と、その対策について検討して欲しい。 栽培農家数、横浜市・川崎市で 約60戸。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 直売等に適した花き・鑑賞樹の安定生産技術の開発		
対応の内容等	同時期（低温期育苗）の出荷に合わせた作型を再現して、用土、施肥の側面から原因を探る試験を検討したいと考えています。現地の情報等をいただきながら、調整して進めて参りたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			